

2012年11月26日 日本テレビ 定例記者会見

《 要旨 》

1. 組織改正と人事異動

先日発表した中期経営計画に基づいて、組織改正と人事異動を12月1日に実施する。

・「海外ビジネス推進室」を新設し、「海外における確固たるポジションの獲得」に向け、関連する人的リソースの集中により事業拡大を図る。室長は丸山公夫取締役 常務執行役員。

・「情報エンターテインメント局」を「情報カルチャー局」に改称。「多彩な文化の創造で、国民生活を豊かにする」ための番組制作の一翼を担う役割を明確にするため、組織名称を変更するもの。

・「番組制作向上推進事務局」を編成局内に新設する。番組全体の信頼性を維持・向上させる取組の一環として、番組が視聴者の皆さまや全てのステークホルダーの信頼に応えているか助言する組織。番組制作者の自由な発想や表現の多様性を確保しつつ、番組制作に直接関わっていない社員が、より視聴者に近い立場から放送前に多角的な視点から表現等を確認して番組の質の向上を図る。

2. 視聴率動向と編成戦略

・視聴率動向

先週の視聴率は全日とゴールデンタイムが1位。

年間視聴率のトップ争いについては、残り期間が少ない中、質の高い番組を製作・放送し、視聴率に反映される事が望ましい。全日とゴールデンタイムは引き続きトップ、プライムタイムは0.1ポイント差で2位。ライバル局の動向を気にかけるよりも、より多くの視聴者の皆さまにご覧頂けるよう努力をしていく。レギュラー番組を大事にする大前提で、レギュラー番組と特番のバランスをとる方針は変わらない。12月は各局とも特番を多く編成する中、昨年も最後に特番の健闘が牽引力となって三冠王を獲得した経緯もあり、年末に向けて特番を増やし、プライムタイムでもトップを獲得して三冠王維持を目指す姿勢は変わらない。

・ 10月改編

10月改編については、火曜 21 時「解決!ナインイアンサー」が旧枠よりも視聴率を 3 ポイント以上上げて平均で 2 桁、直近では 12.1%と成功している。木曜 19 時「快脳!マジかるハテナ」も旧枠より微増。土曜 21 時のドラマ「悪夢ちゃん」も旧枠より上昇。水曜 22 時「東京全力少女」は旧枠よりもやや下げているが、残り 5 話で 2 桁を目指したい。

・ 年末特番

大晦日 12 月 31 日（月）18 時 30 分より「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!!大晦日スペシャル!!絶対に笑ってはいけない熱血教師 24 時!!」を放送する。大晦日はこの特番で過ごされるご家庭もかなりあると聞いているので、大いに期待している。

前日の 30 日（日）19 時からは「世界の果てまでイッテ Q!」の特番を 4 時間にわたり生放送する。

昨年同様、日本テレビを代表する番組の特番を年末に編成していく。最近は年末年始がかなり強く、昨年も年末年始に高い視聴率を獲得したため、期待している。

3. 営業状況と放送外収入

・ 営業状況

第 2 四半期の放送収入は前年同期比 102.7%、上半期の放送収入は前年同期比 107.8%。

タイムセールスについては、4 月改編でカロリーアップし、10 月以降もその状態を維持できたため、全体に順調。12 月のサッカー「TOYOTA プレゼンツ FIFA クラブワールドカップジャパン 2012」も順調にセールスが進んでいる。

10 月のスポットセールスは各社同様であるが、あまり好調ではなく前年同月比 88.0%。11 月は改善する見通しだが、前年同月比 100%にわずかに届かない状況。12 月も回復基調にあり、90%台の後半を期待している。

年末年始は特番を多く編成する予定だが、実績の高い特番が多く、一定以上を見込んでいる。

・ 放送外収入

映画事業では、先週末公開の幹事作品「綱引いちゃった!」は 3 日間で 8 万 4,000 人以上にご覧頂いた。井上真央さん主演の楽しい映画なので、さらに多くの皆さまにご覧頂けるよう期待している。

宣伝に協力している「エヴァンゲリオン新劇場版：Q」は公開9日で203万人以上が来場され、絶好調。

10月6日公開の幹事作品「ツナグ」は51日間の動員が136万人、興行収入は16億円と予想を上回るヒットとなった。

舞台「里見八犬伝」を新国立劇場で11月16日から26日まで17公演開催し、ほぼ連日完売と大変な人気。こうした新しいイベント事業にもさらにチャレンジしていきたい。

4. その他

・選挙報道

総選挙投票日の12月16日はサッカー「TOYOTA プレゼンツ FIFA クラブワールドカップジャパン2012」決勝戦の放送を19時から21時39分まで予定している。選挙報道と重なるが、日本テレビでは両方をお伝えする。

出口調査の結果は20時直前から3分間、サッカーの中継画面を分割し、主音声でお伝えする。それ以降も開票速報や議席数等の情報を、サッカーの画面の下に表記する。また、ハーフタイムには選挙情報を挿入する予定。どのような番組編成にあっても、国政選挙については正確迅速な情報提供が求められており、今回もこれまでと遜色ない放送を行う。

「TOYOTA プレゼンツ FIFA クラブワールドカップジャパン2012」終了後、28時まで「ZERO×選挙」として選挙特番を放送予定。また、BS日テレやニュース専門チャンネル「日テレニュース24」を含め選挙報道を行う。

国政選挙は毎回特色があり、今回の報道だけ特別である事はない。正確かつ迅速に報道する基本は変わらない。ただし政党数が多いため放送上の扱いについては従来以上に慎重に進める。

(了)